


ふりがな 氏名	こばやし あすか <b>小林 明日香</b>	都道府県 <b>神奈川県</b>	
所属/肩書	<b>東京大学公共政策大学院 公共政策専攻</b>		
私のESD活動	<b>草の根レベルと政策レベル双方からの国際教育協力 (例：教育現場における子どもの人権のアドボカシー活動)</b>		

**活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）**

- ① 【現在】Human Rights Watchにて日本における児童養護施設にいる子どもたちとLGBTの子どもたちの教育環境改善に向けた政策提言に貢献した。
- ② 国際協力機構(JICA)のミャンマー事務所にて2015年11月から12月まで業務に携わった。ヤンゴン工科大学とマンダレー工科大学の6学科を対象学科の研究と教育に関する能力向上に貢献した。
- ③ UNESCO-IIEPにて2015年05月から2015年08月で業務に携わった。専門家を対象とした、教育計画・マネジメントに関する問題、手段、技法に関する知識や能力を強化と、発展途上国の国々(主にアフリカと東南アジアの国々)の教育省の方々による教育政策提案書作成へ貢献した。
- ④ KIAFRIKAにて2012年07月から2012年08月まで、業務に携わった。アフリカのケニアにて、日本の政府開発援助(ODA)支援下にある、NGOにて、指導教員の能力向上に貢献。
- ⑤ 特定非営利活動法人 ACEにて、2011年11月から2012年03月まで、ガーナにおける児童労働撲滅運動に貢献した。
- ⑥ 学生有志団体設立し、カンボジアプロジェクトを実行した。認定特定非営利活動法人日本地雷処理を支援する会の協力の下、地雷の危険性に対するアドボカシー運動に貢献した。

**ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体(地域や日本国内、国際)の発展にどのように貢献したいと思いますか？**

ハーバード教育大学院に進学後、大学院で開始した社会起業家育成のプログラムの継続・発展を行いつつ、留学中に得た人脈を利用して、世界銀行のワシントンD.C. オフィスにて教育セクターの Adult literacy/non-formal educationにてインターンを行う。具体的には、現在マリで世界銀行が実施している社会で必要なスキル習得に向けた若者を対象とした教育改革と若者の仕事機会の創造を行うプロジェクトに関わりたい。その後、国際協力機構の教育専門家としてミャンマーで現在行われている、教育の質の向上を目的とした教育政策アドバイザーのような案件に携わり、現場での職務経験を積む。その後、YPP 制度を利用して、世界銀行に教育専門家として入行し、再度 Adult literacy/non-formal education に携わる。世界銀行で培った、教育協力を経済の視点から分析する知識や能力を応用し、UNESCO MGIEにて教育を通じた平和、ESD グローバルシティズンシップの実現に貢献し、日本の大学を中心に、客員教授として、次世代のグローバル人材育成を積極的に行う。

長期的には、政府リーダーや教育省、教育機関等のアドバイザーやボードメンバーとして、教育の質の向上、「持続可能な開発のための教育(ESD)」とグローバルシティズンシップの相互強化に貢献する。